

第4回北海道地域日本語教育シンポジウム 「北海道 ナゼここに？ 新しいコミュニティ」を開催

【概要】

外国人労働者が急増する北海道では技能実習や特定技能として働く人たちの存在が注目されていますが、道内には、家族帯同が可能なビザで来道した人たちが新たなコミュニティを築いている地域もあります。本シンポジウムでは、浦河町のインドコミュニティ、江別市・当別町にまたがるパキスタンコミュニティに注目します。コミュニティの今を知り、今後必要とされる日本語学習支援についても考えます。

【趣旨】

第1部で北海道総合政策部国際局国際課、キャリアバンク株式会社より北海道の外国人受け入れの現状を、識者より2027年度の育成就労への移行に向けた今後の展望を伺います。制度の変更とともに、今後、北海道の各地域で家族を伴う外国人労働者が増加していくことを踏まえ、第2部では、既に家族を伴うコミュニティが形成されている浦河町、江別市の状況を自治体関係者、支援者、当事者よりお話しいただきます。最後に、文化庁の地域日本語教育アドバイザーを務める深江新太郎氏より、コミュニティを持つ人たちへの日本語学習支援の可能性を伺います。

【日 程】 2025年1月25日（土） 13時00分～16時30分（受付：12時45分から）

【場 所】 オンライン配信及びサテライト対面会場（以下の4会場）
・市民交流施設ぶらっと（北海道江別市東野幌本町6-43）
・北見工業大学（北海道北見市公園町165）
・JICA北海道（帯広）（北海道帯広市西20条南6丁目1-2）
・旭川市民国際交流センター（北海道旭川市1条通8丁目108番地 Feeeal 旭川7階）

【主 催】 北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部、SHAKE★HOKKAIDO

【対 象】 一般市民

【募集人数】 250人

【参加費】 無料

【言語】 日本語

【プログラム】 オープニング 13:00～13:15

第1部 北海道の受け入れの今と今後

13:15～13:30 「北海道の今と地域日本語教育推進事業」
幅口一路（北海道総合政策部国際局国際課・課長補佐）

13:30～13:45 「北海道における外国人受け入れの現状」
水田充彦（キャリアバンク株式会社海外事業部・部長）

13:45～14:05 「受け入れ制度の変化から考える北海道の今後」

宮入 隆（北海学園大学経済学部・教授）

第2部 北海道の新たなコミュニティの今

第2部① 浦河町

14:20～14:30 「浦河町におけるインドコミュニティの形成と町の対応」

長崎哲之（浦河町役場企画課・課長）

若林寛之（浦河町役場企画課企画統計係・係長）

14:30～15:45 「支援者から見たインドコミュニティ女性のある方に注目して」

稲岡千春（浦河町地域おこし協力隊）

14:45～15:00 「浦河町在住インド人の背景と現状」

栗田知宏（東京外国語大学・特定研究員）

澤田彰宏（東京外国語大学・非常勤講師）

第2部② 江別市

15:05～15:20 「江別市におけるパキスタンコミュニティの形成」

土門寛治（北海道新聞・記者）

15:20～15:35 「在留資格からみる中古車事業」

林 佑樹（すずかぜ合同事務所・行政書士）

ハッサン マンスール（HERO TRADING 株式会社・代表取締役）

15:35～15:45 「パキスタンコミュニティの今と未来」

ソバン ファルーク（北海道情報大学・学部1年生）

総括

16:00～16:20 「コミュニティを持つ人たちに私たちができる日本語学習支援とは」

深江新太郎（NPO 多文化共生プロジェクト・代表）

フィナーレ 16:20～16:30

【申込方法】 2025年1月20日（月）までに、以下の Google Form よりお申込みください。
<https://forms.gle/egMMJ5qXcSu9rQad8>

お問い合わせ先

北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部 准教授 / SHAKE★HOKKAIDO 代表

平田未季（ひらたみき）

T E L 011-706-8010 メール mihirata@oia.hokudai.ac.jp

U R L <https://isc.high.hokudai.ac.jp/>

<https://shakehokkaido.studio.site/> (SHAKE★HOKKAIDO)

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp